

社会教育・生涯学習振興関係

※制作年が不明のものは空欄になっています

番号	タイトル	VHS・DVD	上映時間(分)	制作年	アニメ	内容
34	新しい風	VHS	21	S63		戦後、急速な展開を遂げてきた日本。学校教育中心、学歴社会の風潮の中、暮らしの中にゆとりを見つめ直す教育が必要とされている。その中で地域に結びついた新しい学習が次々と生まれつつある。情報提供のネットワークとして全国に生涯学習センターができています。
174	「テレビと生涯学習」～ともに生きる世界～	VHS	90	H3		民間放送教育協会が主催する平成3年度地区別研究協議会九州地区大会の様態を記録したもの。学習が意外に楽しく面白いと思うことから、新たな人間関係のつながりが生まれ、お互いが支えあうことまで行き着けばとの願いのもとに討論がなされている。
204	ホビーアートステーション	VHS	47			生涯学習へホビー提案 社団法人日本ホビー協会
783	生涯学習で自立・共生	VHS	27	H11		生涯学習を仲立ちとして、このことと10年間取り組み、今日では2000人を上回る市民が生き生きとした日々を送っている静岡県清水市の清見潟大学塾の事例を描いたもので、高齢化社会における一つの存り方を示すものとして、参考になると思います。
852	Let' S生涯学習	VHS	22			生涯学習で、大人も子どもと一緒にになって好きなことに集中し、そこで大人と子どもの会話が弾めば、非行なんて起こらないだろう。子どもたちの明るい将来のためにも仕事の他に好きなことを始めよう。
1250	生涯学習のすすめ	VHS	15			生涯学習推進施設や市町村が実施している学習機会や情報提供等の事業を紹介しています。
1251	百才百才音頭	DVD	5	H19		あなた百まで生かしたい わたしゃ後押し惜しまない 百の階段のぼるから みなさん手拍子 足拍子・・・百才万歳の健康体操です。
9603	3. 11東日本大震災から学ぶ 津波・命を守る心構え	DVD	20	H7		東日本大震災は、想定外の巨大な津波を引き起こし、東北地方の沿岸を中心に多くの死者・行方不明者を出した。津波という自然災害から命をいくためにはどのような意識をもちどんな行動をすべきか考える。釜石で長年防災の指導をしてきた片田敏孝教授にお話を伺う。
9616	実証『地域力』醸成プログラム・今しまねの公民館がおもしろい	DVD	65	H23		地域力醸成プログラム 各公民館の記録
9617	実証『地域力』醸成プログラム・モデル公民館地域リーダーが語る 成功秘話～仕掛けと転機はここにあった～	DVD	65	H23		地域力醸成プログラム 各公民館の記録
9668	ボクはすぐに逃げ込んだんだ 東日本大震災から学んだこと	DVD	14	H30	アニメ	文部科学省選定 地震・津波・防災教育(小学校中・高学年向け)
9682	人と地域をつなぐご縁の国しまねの社会教育	DVD	51	R6		社会教育士とは？一人一人のライフスタイルに合わせた個人の幸せを実現し、よりよい社会をつくるため、自らが疑問を持ち、課題を見つけ、他者とともに考え、新たな考えや価値を創造する「学び」の重要性が高まっています。そのような「学び」をデザインし、多様な主体と連携・協働しながら、住民主体の学習活動を支援する人です。

9683	人と地域をつなぐご縁の国しまねの社会教育	DVD	51	R6	社会教育士とは？一人一人のライフスタイルに合わせた個人の幸せを実現し、よりよい社会をつくるため、自らが疑問を持ち、課題を見つけ、他者とともに考え、新たな考えや価値を創造する「学び」の重要性が高まっています。そのような「学び」をデザインし、多様な主体と連携・協働しながら、住民主体の学習活動を支援する人です。
9684	人と地域をつなぐご縁の国しまねの社会教育	DVD	51	R6	社会教育士とは？一人一人のライフスタイルに合わせた個人の幸せを実現し、よりよい社会をつくるため、自らが疑問を持ち、課題を見つけ、他者とともに考え、新たな考えや価値を創造する「学び」の重要性が高まっています。そのような「学び」をデザインし、多様な主体と連携・協働しながら、住民主体の学習活動を支援する人です。
9685	能登半島地震から学ぶ	DVD	28	R7	令和6年に発生した能登半島地震では、災害関連死を含め多くの犠牲者を出しました。能登半島地震から得られた教訓をもとに、今後発生することが予想させる南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの大地震から私たちが生き延びるための対策を、被災された方の方の貴重なインタビュー映像を交えながら、具体的に解説していきます。
9686	要配慮者の備えと避難行動	DVD	27	R7	地震や水害などの災害が発生する中、避難したくても動けない人や、情報の入手すら困難な人がいます。要配慮者と呼ばれるこれらの方の命を守るために、どう備え、どう行動すれば良いのか。このことは防災の大きな課題と言えます。地域の人たちは何ができるのでしょうか。当事者の方の取材を交えながら、自助・共助の両面から具体的な方策を探っていきます。